

## 一般社団法人日本精神保健福祉学会 2016年度の活動紹介

本学会は、設立から5年が経過し、2016年7月には日本学術会議協力学術研究団体への加入が実現しました。今後ますます学術的な活動を活性化できるように、学術研究集会と学会機関誌の充実に取り組んでいきます。会員の皆様の自由研究発表や機関誌への投稿、入会いただける方のご紹介をお待ちしています。

### 1. 2016年度学術研究集会（沖縄大会）での自由研究発表演題を紹介します

2016年度学術研究集会が、6月24日に沖縄大学で開催されました。自由研究発表の演題名及び報告者名は、下記の通りです。

#### 第5回学術研究集会（2016年6月24日、沖縄大学）自由研究発表演題

##### 第1分科会 司会：金子努（県立広島大学）

- 福祉型訪問サービスの利用とアウトカムの関連：後ろ向き追跡研究①  
－臨床アウトカムとサービス利用状況の検証－  
○山口創生（国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所社会復帰研究部）、  
吉田光爾（昭和女子大学人間社会学部）、岩崎香（早稲田大学人間科学学術院）
- 福祉型訪問サービスの利用とアウトカムの関連：後ろ向き追跡研究②  
－生活課題の把握と改善に着目して－  
○吉田光爾（昭和女子大学人間社会学部）、山口創生（国立精神・神経医療研究センター  
精神保健研究所社会復帰研究部）、岩崎香（早稲田大学人間科学学術院）
- 精神障害者の一般就労が継続していくための支援プロセス  
－支援者を対象としたM-GTAによる分析－  
○三木良子（帝京科学大学医療科学部）
- 「精神の障害」の障害基礎年金の認定における就労評価についての研究  
○青木聖久（日本福祉大学福祉経営学部）

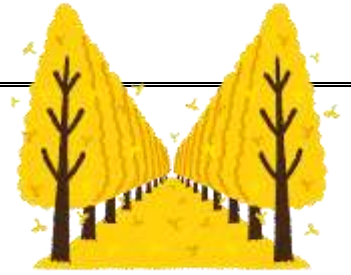
##### 第2分科会 司会：岩崎香（早稲田大学）

- 精神保健福祉援助演習プログラムの開発  
－学生の自己理解を促す方法としての当事者研究の可能性－  
○佐藤園美（北海道医療大学看護福祉学部）、向谷地生良（北海道医療大学看護福祉学部）、  
奥田かおり（北海道医療大学看護福祉学部）
- 精神保健福祉士養成校における実習評価表の構造と課題  
○松浦智和（名寄市立大学保健福祉学部）、永井順子（北星学園大学社会福祉学部）、  
浦田泰成（北海道福祉大学校精神保健福祉学科）、中村裕子（札幌学院大学人文学部）
- 精神保健福祉士の養成教育と卒後教育のあり方  
～卒後5年以内の精神保健福祉士へのアンケート調査から～  
○永井順子（北星学園大学社会福祉学部）、松浦智和（名寄市立大学保健福祉学部）、  
中村和彦（北星学園大学社会福祉学部）
- 交通事故被害者のニーズとその支援に関する研究  
○大岡由佳（武庫川女子大学文学部）、大塚淳子（帝京平成大学健康メディカル学部）
- 韓国における精神保健福祉の動向と課題  
○呉恩恵（早稲田大学人間科学学術院）、田中英樹（早稲田大学人間科学学術院）

- ◆次回学術研究集会を、2017年9月17日（日）に神戸学院大学有瀬キャンパスで開催します。
- ◆日頃の実践活動、教育・研究活動の成果を報告し、共有を図る自由研究発表に、是非ご応募ください。
- ◆自由研究発表は、発表者・共同研究者とも、学会員もしくは学会入会申込書提出者（演題申込期限の時点で、申込書を学会事務局に提出していること）であれば、演題の申し込みができます。（詳細は、学会ホームページに掲載される演題募集要項をご確認ください）

## 2. 『精神保健福祉学』第4巻第1号（通巻4号）を発行しました

2016年10月に、学会機関誌『精神保健福祉学』の通巻4号を発行しました。  
本誌に掲載された内容は、下記の通りです。



### 『精神保健福祉学』第4巻第1号（通巻4号）2016年10月発行 目次

巻頭言—精神保健福祉学のグローバルな構築を

石川到覚

#### 【論文】

医療機関に勤務する精神保健福祉士の現状と多職種連携における課題

岩崎香・鈴木孝典・大谷京子・松本すみ子・大塚淳子・石川到覚

精神保健福祉援助実習における実習指導者と養成校教員の連携に関する実証分析

—実習指導者の連携困難感に着目して—

小沼聖治

#### 【第4回学術研究集会報告】

<記念講演> 『二つの領域に橋を架ける：多文化間精神医学から精神保健福祉学への期待とその可能性』

野田文隆

<シンポジウム> 『越境する精神保健福祉学の可能性を目指して』

シンポジスト：白石弘巳・菅野庸・荒田寛

コーディネーター：田中英樹

<自由研究発表演題>

#### 【書評】

大西次郎著（2015）『精神保健福祉学の構築

—精神科ソーシャルワークに立脚する学際科学として』中央法規出版

評者：荒田寛

岩本操著（2015）『ソーシャルワーカーの「役割形成」プロセス

—「違和感のある仕事」から組織活動への実践モデル』中央法規出版

評者：白石弘巳

ヒーザー・スチュアートほか／石丸昌彦監訳（2015）『パラダイム・ロスト

—心のスティグマ克服，その理論と実践』中央法規出版

評者：中村和彦

<投稿規程・執筆要領・編集委員会規程>

<編集後記>

- ◆日頃の実践活動や、調査結果などをまとめて、投稿してみませんか。  
原稿の種類は、①論文、②調査報告、③実践報告、④資料改題から選ぶことができます。
- ◆投稿原稿の締め切りは、毎年9月30日です。
- ◆原稿の投稿ができるのは、筆頭著者・連名著者とも本学会の会員です。  
会員の皆様からの投稿を、お待ちしております！  
（詳細は、学会ホームページに掲載の投稿規程等をご確認ください）



#### 【事務局からのお願い】

◎ご所属や連絡先等に変更がある場合、学会代表 E-mail アドレスまでお知らせください。

◎平成28年度学会年会費の納入がまだの方は、納入をよろしくお願いいたします。

★学会機関誌第5号の編集は、2016年6月に発足した編集委員会が進めています。



- ◆発行：一般社団法人日本精神保健福祉学会 会長 田中英樹
- ◆学会事務局：〒359-1192 埼玉県所沢市三ヶ島 2-579-15  
早稲田大学人間科学学術院 岩崎研究室
- ◆学会代表 E-mail アドレス： mail@jassmhs.jp
- ◆学会ホームページ： http://www.jassmhs.jp/